

賀茂農林事務所の活動と農林業の情報を紹介します

かものういんだよい

2013年7月号

発行：静岡県賀茂農林事務所
所在地：〒415-0016 静岡県下田市中531番地の1
電話番号：0558-24-2074
FAX番号：0558-24-2163
<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-710/>



賀茂花セレクション

ユウスゲ

奥石廊崎に群生するユリ科の多年生植物で、花言葉「美しい姿」にふさわしい花が見られます。

開花時期は7月下旬～8月中旬です。是非ご覧にお越しください。

いしぶ 石部の灯り ～棚田にキャンドルライト～

石部棚田保全推進委員会は、5月18、19日の夕方、石部の棚田（松崎町）で、1,500本のキャンドルでライトアップを行うイベントを、昨年に引き続き、開催しました。

棚田のある石部地区は、かつて石の上で神火を燃やして海上交通の目印とするなど、火に縁のある地域です。

キャンドルが点灯されると、暗闇の中に棚田がうっすら浮かび上がり、幻想的な光景に参加者から歓声が上がりました。来年も、キャンドルの数を増やし開催する予定です。



担当：農村整備課（0558-24-2080）

梅雨・台風を控え、治山パトロールを実施

梅雨や台風の季節を迎えることから、6月3日、6日、10日に治山パトロール実施しました。

今回のパトロールでは、6市町にある昭和45年から平成24年に設置した計67の治山施設をまわり、異常がないか全体を確認したり、地元の方のお話を伺いました。パトロール中、ご意見をいただいた皆様、ありがとうございました。

施設に異常等を見つけたら、お住まいの市役所・役場や賀茂農林事務所治山課までお知らせ願います。



担当：治山課（0558-24-2084）

6月～8月は農薬危害防止運動実施中

平成25年6月1日から8月31日までの3か月間、農薬の適正な販売・使用・保管管理等を啓発する「農薬危害防止運動」を実施しています。

運動テーマは、①農薬使用基準の遵守の徹底、②周辺作物および環境に配慮した農薬使用、③農薬の保管管理の徹底、④農薬使用者の健康管理、⑤効率的な農薬使用です。期間中に、農薬の販売者や使用者を対象に講習会や立入指導を実施します。



担当：地域振興課（0558-24-2079）

ニホンジカの一斉管理捕獲を実施



伊豆地域では、増えすぎたニホンジカによる農林業被害や自然植生への影響が問題となっています。

このため県では、ニホンジカの特定鳥獣保護管理計画を策定し、去る5月28日には、天城放牧場（伊豆市湯ヶ島）において、静岡県猟友会による一斉管理捕獲を実施しました。

今年度は、伊豆地域で計7千頭の捕獲を目標としており、猟友会はじめ地元の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

担当：森林整備課（0558-24-2082）

「賀茂地域資源活用促進連絡会」を開催

6月11日、下田総合庁舎にて、6次産業化ネットワーク会議「賀茂 地域資源活用促進連絡会」を開催しました。

連絡会には、地元農水産業者や商工会、観光協会、管内市町など30名が出席し、賀茂農林から平成25年度の6次産業化取組支援計画等（アドバイザー派遣、異業種交流会、新商品評価会、グリーン・ツーリズムの推進等）、静岡県商工会連合会等の支援機関から6次産業化関連事業を説明しました。

続いて、連絡会の出席団体から6次産業化の取組状況についての意見交換を行い、情報共有を図りました。今後も、賀茂農林では6次産業化に向けた取組の支援を強化していきます。



担当：地域振興課（0558-24-2079）

管内のふじのくに美しく品格のある邑（むら）の紹介【その2】

平成24年度に「ふじのくに美しく品格のある邑」に登録された、賀茂農林管内の邑の活動について、前月号に引き続き紹介します。

【日野（ひんの） 元気な百姓達の里（南伊豆町）】

町の玄関口に位置する日野地区は、春は一面に菜の花、夏は3万本のヒマワリが咲き誇ります。「元気な百姓祭」と銘打ち、地元農業者が、小中学校や一般住民と連携し耕作放棄地を解消する活動を行っています。



【大川（東伊豆町）】

地区内では、「ストレッチャ」と「みかん」が主に栽培されています。「ホテル祭り」（6月）や「あまごのつかみ取り」（8月）等のイベントを自ら運営し、来訪者と地域住民の交流を積極的に行っています。



担当：農村整備課（0558-24-2080）

賀茂の「食の都づくり仕事人」

イタリアンレストラン「Salute」 佐藤シェフ
（The 仕事人 of the year 2012 受賞）

松崎町にあるイタリアンレストラン「Salute」は、ヨーロッパ風の外観が周囲の田園風景に違和感なく溶け込んでいる素敵なお店です。

「その土地の食材を使った料理を」と、仕事人佐藤シェフ。その姿勢は、地元の食文化を大切にするイタリア各地を修行して回ったことにルーツがあるようです。

ピザやパスタには賀茂十一野菜をはじめ、松崎町の野菜がふんだんに使われ、同じメニューでも旬の野菜を使っているため、季節ごとに違う彩になるそうです。季節を感じながら1年を通して通いたいお店です。

紹介するのは一番人気の「さざえと季節野菜のペペロンチーノ」、赤米入りの自家製手打ち麺に伊豆産のサザエと松崎産の野菜がよく合う逸品です。



お知らせ・イベント

◆ 平成25年度 経営改革講座受講生募集

「新しい農業に挑戦したい!」、「儲かる農業を目指したい!」そんな農業関係者を対象に、宮口巧マーケティングアドバイザーの指導の下、6次産業化による新たな取組に向けた考え方を学ぶ講座を開催します。

講座は、7月から11月まで全6回、無料です。

参加申込：企画経営課（0558-24-2076）

回	期 日	内 容
1	7月23日(火)	農業を取り巻く環境
2	8月20日(火)	6次産業化の推進・経営分析
3	9月24日(火)	現状分析と新商品の事業戦略
4	10月29日(火)	現地確認・個別指導
5	10月30日(水)	事業プラン発表とブラッシュアップ
6	11月19日(火)	成果発表会

◆ 耕作放棄地の解消に乗用型草刈機をお貸しします!

耕作放棄地に繁茂した雑草の刈取は重労働です。耕作放棄地の解消に取り組む皆さん、乗用型草刈機を利用しませんか!

- ・機 種：ハンマーナイフモア
- ・寸法等：全長186cm 全幅101cm 重量306kg
（軽トラックで運搬可能）
- ・特 徴：クローラ式で小区画農地でも旋回が容易
- ・使用料：無料（燃料費、機械運搬は借受者負担）
- ・その他：機械のき損・滅失、事故等は借受者の責任
事前の申込が必要
- ・問合せ先：企画経営課（0558-24-2076）

